

箱根駅伝折り返し点



富士箱根伊豆国立公園

箱根

NATIONAL PARK HAKONE

國立公園
箱根觀光案內圖
Hakone Sightseeing Map



箱根峠



芦ノ湖

芦ノ湖が生まれたのは、約2万6千年前とされています。噴火によるたい焼で早川がせき止められ、砂石原を含む現在の芦ノ湖より4倍も広い、古芦ノ湖が誕生しました。

古芦ノ湖の水位は現在より50mほど高く、早川のほか須川へも水を送っていましたが、小糸山付近の堤防が決み、早川への流れが途切れにつれ水位が下がり、須川への流れが止りました。

そして、いまから3千年前大涌谷の爆発で起きた神山の崩れによって、古芦ノ湖は砂石原と現在の芦ノ湖に分離され、下流に位置する砂石原は水が早川へ漏出し、干上がって藻類となりました。

天気が良ければ

箱根外輪山

箱根火山は、富士火山帯に属し新旧2つの外輪山と中央加工丘からなる三重式火山で、三期に分けた火山活動のうち第一期の活動で三国山、丸岳、明星ヶ岳など古箱根山が、第二期の爆発により浅間山などの新期外輪山が形成され、第三期（6万6千年～現在まで）の火山活動によってできたのが、正面に見える神山、駒ヶ岳、二子山などの中央火口丘です。

箱根峠



箱根峠

箱根八里記念碑



新箱根八里記念碑 (峠の地蔵)

SHIN HAKONE HACHIRI KINENHI (TOHGE NO JIZO)

その昔、東海道を旅する人の目安になったのが一里塚でした。時は移り、現代、箱根旧街道を散策する人々にとって旅のひととき
憩いになればと、1985年に(社)三島青年会議所の働きかけで設置されたのが「箱根八里記念碑」です。
そして2003年、国土交通省静岡国道事務所・三島市・函南町の協力により、新たに8人の女性による揮毫を得て、ここに
新石碑が誕生しました。地球に見立てられ盛り上げられた地表に、さまざまな様相さまざまな方向を見つめて立っている地蔵たち。
これらの地蔵は未来への道標となろう言葉を抱えていて、まさに現代の一里塚といえるものです。

おしん 辛抱

橋田 寿賀子

HASHIDA SUGAKO

花見る人は皆きれい

黒柳 徹子

KUROYANAGI TETSUKO

道は段々 階しく

穂吉 敏子

AKIYOSHI TOSHIKO

夢に向かってもう

向井 千

MUKAI CHI

来れば 伊豆の海や
島に浪の寄る見ゆ

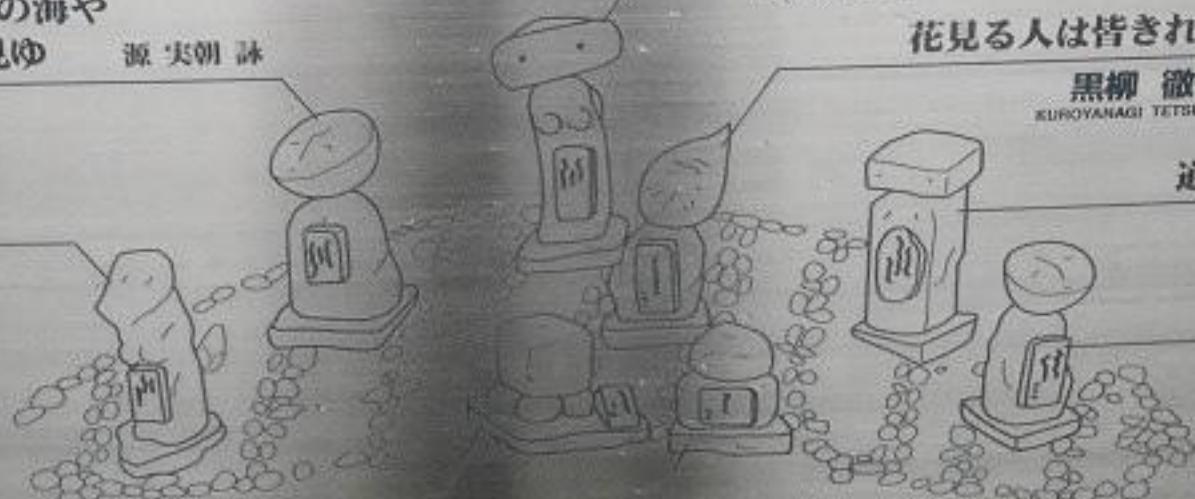
源 実朝 詠

子
HOKO

大胆

本 聖子

IMOTO SEIKO



私は地蔵と共に泣き

デザイン・監修

鷹村 方三



根開

箱根旧街道 茨ヶ平

昭和九年二六〇四月廿九日幕府は江戸を中心として、日本各地へ通じる五街道を整備した。

中でも江戸と京都・大阪を結ぶ東海道は一番の主要街道であった。

この東海道のうち最大の難所は、小田原宿と二高宿を経て、箱根八丙五丁の箱根峠を越える箱根八里（約二三キロ）の区間である。箱根町街道とよばれる。

ローと層の上で大変苦りやすい道なので、最初は箱根住の東を敷いたが越室八丁（二六八〇）に、幅一間（約三・六メートル）の石畳に改修された。

その他の街道整備として、風雪をしのぐための基本敷や、道のりを一里（一キロ）にする車塚がつくられた。

歩點交代や伊勢参りなど、江戸時代の旅が一般的になるとともに感わった箱根道を明治二年（一八八九）東海道線の開通や、大正二年（一九一二）、国道一号线の敷設によつて衰退した。

このあたりは、いわが先い茂つていて、付近の草原を茨ヶ平という。

平成十一年二月
二島市教育委員会



茨ヶ平

箱根関所跡 3km

三島宿 11km

箱
根
旧
街
道

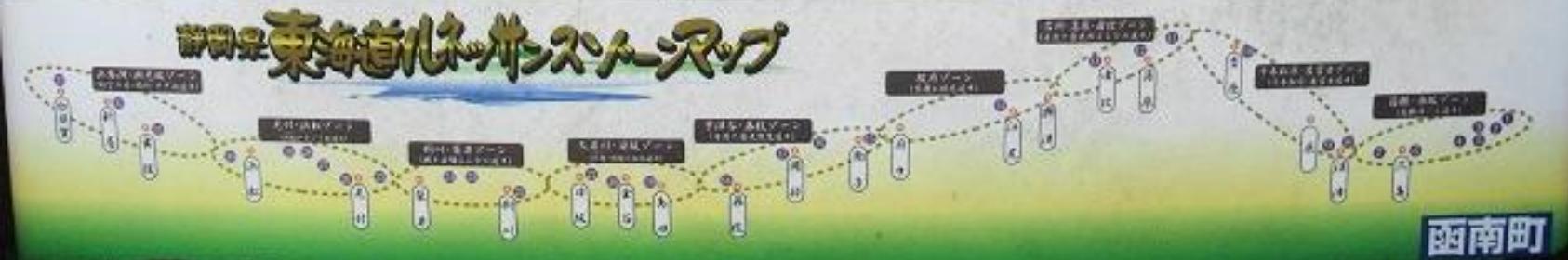
標識

標識

新竹市立
立碑

この木製看板はウォーカー専用看板として、
道・飲食・危険箇所の
案内を標示しています。
是非利用して下さい。

兜石



山中城跡・三島宿
(箱根旧街道迂回路)

三島市入り



山中新田一里塚

山中城跡

山中城址

箱根旧街道



山中城址

山中城
1



国指定史跡山中城跡

(昭和九年一月二日指定)

史跡山中城は、小田原に本城をもいた後北条氏が、永禄年間（一五六〇年代）に小田原防備のために創築したものである。

やがて天正十七年（一五八九年）豊臣秀吉の小田原攻めに備え、急ぎ西ノ丸や出丸等の増築が始まり、翌年二月、豊臣軍に包囲され、約十七倍の人数にわずか半日で落城したと伝えられる悲劇の山城である。この時の北条方の城主松田康長・副将間宮康俊の墓は今も二ノ丸跡の宗闘寺境内にむしてある。

三島市では、史跡山中城の公園化を企画し、昭和四八年度よりすべての曲輪の全面発掘にふみきり、その学術資料に基づいて、環境整備に着手した。その結果、戦国末期の北条流の築城法が次第に解明され、山城の規模、構造が明らかになつた。特に堀や土塁の構築法、尾根を区切る曲輪の造成法、架橋や土橋の配置、曲輪相互間の連絡道等の自然の地形を巧みに取り入れた繩張りの妙味、空堀・木堀・用水池・井戸等、山城の宿命である飲料水の確保に意を注いだこと等、学術的にも貴重な資料を提供している。



総平面



武蔵



平成十三年三月
文化庁
静岡県教育委員会
三島市教育委員会

国指定史跡

山中城跡案内図





山中城址



山中城址

箱根旧街道
Hakone-kyukaido



箱根旧街道

慶長九年（一六〇四）江戸幕府は江戸を中心として、日本各地へ通じる五街道を整備した。中でも江戸と京都・大阪を結ぶ東海道は一番の主要街道であった。この東海道のうち最大の難所は、小田原宿と三島宿を結ぶ、標高八四五mの箱根峠を越える箱根八里（約三・九km）の区間であり、箱根旧街道とよばれる。

現在、この区間の車道の最大勾配（簡斜）は一二%だが、この道は平均二〇%，最大四〇%なので大変な急坂であったことがわかる。

ローム層の上で大変滑りやすい道なので、延宝八年（一六八〇）頃には、舗内を除くほぼ全線が幅一間（約三・六m）の石畳に改修された。その他街道警備として風雪をしのぐための薪木敷や、道のりを正確にするための一里塚がつくられた。

参勤交代や伊勢参りなど、旅が恒常化するとともに廻わった旧街道も、明治二十二年（一八八九）、東海道線の開通や、大正二年（一九一三）、国道一号線の敷設によって衰退した。ここ下長坂は別名「こわめし坂」ともいう急勾配で、背に負った木も人の汗や蒸氣で蒸されて、ついに強飯のようになるからだという。

平成九年十月
三島市教育委員会



こわめし坂・三島宿

笹原一里塚・箱根峠

箱根旧街

箱根旧街道





箱根旧街道

箱根旧街道

笛原地区の石畳復元・整備

箱根旧街道は慶長九年（一六〇四）江戸幕府が整備した東海道の中で、小田原宿と三島宿を結ぶ、標高八四五mの箱根峠を越える箱根八里（約三・七km）の区間に当たる。この旧街道には、通行の人馬を保護する桟や杉の並木が作られ、道のりを正確にするための一里塚が築かれ、またロードム用の上で大食滑りやすい道なので、延宝八年（一六八〇）頃には石畳の道に改修された。

三島市は貴重な文化遺産である石畳の活用を図るため、この「笛原地区」約四二〇mの区間のうち、二八〇mを、平成九年度（一九九七）に復元・整備した。

発掘調査の結果、石畠は幅一間（約三・六m）を基本とし、道の両側の縁石は比較的大きめの石が並ぶよう配置されていたことが確認された。またこの区間は轍道として利用され、たびたび補修されているので、他の区間ではあまり見られない石材の利用方法が認められる。最も多いのは、比較的繊かな石材の長辺を地中に深く埋め込むことによって石材の安定を図る方法である。

調査の成果を基に、次のようなDの四種類の手法で整備した。

A 現状保存（一部根府川石補填）（約一四五m）

石畠がよく残っている部分はそのままの状態で保存し、所々石が抜けている箇所にはモルタルセメントで踏面強化をし、購入石の安山岩（根府川石）を補填する。

B 現状保存（下部基礎設置）（約九一・七m）

農耕車の往来の影響で凹凸がつくなど傷みのはげしい部分は、動いていない石を基準にレベルを決める。動いていない石には番号を付けて一旦石を撤去する。全体に下部基礎を設け、その上に番号に従って石を元に戻し、石畠を復元する。

C 全面補木石敷設（下部基礎設置）（約八二・二m）

石畠が残っていない部分は、全体に下部基礎を設け、その上に購入石の安山岩（根府川石）を敷設し石畠を整備する。

D 全面補木石敷設（下部基礎設置）（約五九m）

石畠が残っていない部分は、全体に下部基礎を設け、その上に購入石の根府川石を敷設し、石畠風に整備する。



道標第一里塚

三島町
笠原新田
道標一里塚

RAN
SHINDA

三島町
KANASHI
Chō

笠原新田一里塚

初音ヶ原石畳遊歩道について

江戸時代の東海道は、徳川

長崎へ向かう四

に整備され、道の両側には
松や杉の並木が植てられ一里
ごとに塚がつくれました。しかし箱根路は急坂のため
道が荒れ、しかも滑りやすい
のでその対策としてやがて石
が敷かれたもので、この初音
ヶ原付近では現行の
上り線に街

色濃く残すここ初音ヶ原に、
石畠遊歩道として、備された
もので、天下の險、箱根八里
を徒歩や駕籠で往来した人々
の姿がしのばれます。

平成二年三月

三島市教育委員会
建設省幹部工事室

初音ヶ原石畳遊歩道

初音ヶ原遊歩道



錦田一里塚





初音ヶ原の松並木



初音ヶ原松並木

三島宿

箱根峠
錦田一里塚



沼津宿へ

柿田川公園前



対面石

頼朝義経兄弟
八幡神社

PACHINKO
ABC

頼朝、義経の
対面石標識



狩野川



沼津の街



沼津の街